

2012年度事業報告書

(2012年4月～2013年3月)

2012年4月1日、大阪法務局へ移行登記申請をし、公益財団法人松下幸之助記念財団として新たなスタートをきった。財務的には、収入の大半を占めるパナソニック(株)の配当が2012年度は見送られたため、配当収入が半減となったが、当初計画通りの事業を実施。

尚、2012年7月に松下正治氏より、財団の事業用資金として10億円の寄附を受けた。

当該期間内に実施した事業は以下の通り。

(注)金額は、管理費からの振替前

【外国人留学助成】

36,924千円

アジアからの国際大学留学生13名に対する奨学金助成 (24年目)

・1年生6名、2年生7名

・累計助成者数 : 166名

(男性101名 女性65名、17か国・地域)

2012年

- 6月20日 2年生卒業前の財団訪問(修了報告)
- 6月26日 国際大学修了式 出席
- 8月初旬 国際大学同窓生ニュース「大志」発行(第15号)
- 9月18日 国際大学30周年記念行事に出席
- 10月4-5日 国際大学訪問
・新留学生(6名)オリエンテーション、個人面談
- 11月30-12月1日 1年生東京研修
・東京大学(本郷)
・パナソニックセンター東京などを訪問
・国際大学同窓会開催(OB 7名参加)
- 12月19-20日 1年生関西研修
・パナソニックセンター大阪
・松下幸之助歴史館
・京都大学等を訪問

2013年

- 1月中旬 国際大学同窓生ニュース「大志」発行(第16号)

【日本人留学助成(松下幸之助国際スカラシップ)】

43,646千円

アジア、中近東、アフリカ、ラテンアメリカ地域への留学助成(15年目)

- ・本年度の認定者は12名(アジア 7名、中近東 3名、アフリカ 1名、ラテンアメリカ 1名)
- ・累計助成者数: 167名(うち助成終了者 145名、留学先: 42か国・地域)

2012年

6月6日 第1次選考委員会(書類) (リーガロイヤルホテル大阪)

応募者46名から23名選出

7月3日 第2次選考委員会(面接) (リーガロイヤルホテル大阪)

17名を最終選出

9月21日 2012年度「松下幸之助国際スカラシップ」認定式

(パナソニック本社)

- ・認定者15名(2名欠席)に認定証授与、歴史館訪問
- ※17名認定するも5名辞退となり本年度の認定者は12名

10月20日 第8回松下幸之助国際スカラシップフォーラム開催

『声を聞く: 変わりゆく「場」から』

(於: 東京大学弥生講堂)

・プログラム

「基調講演」”現場で考える: 人類学的フィールドワーク”

講師: 木村 秀雄氏

東京大学 大学院総合文化研究科教授

「発表」

松下幸之助国際スカラシップ終了生 5名

(カンボジア、エジプト、ペルー、グアテマラ、韓国)

・参加人数: 60名

- ・共催: フォーラム委員会 (委員長: 水口拓寿氏 武蔵大学人文学部准教授、2000年度奨学生)
松下幸之助記念財団
- ・後援: 外務省

10月下旬 松下幸之助国際スカラシップ留学終了者、新規2名のブックレット出版(累計30名が出版)

12月中旬 松下幸之助国際スカラシップニュース「大志」第13号を発行

【研究助成】

43,313千円

人文・社会科学分野の研究を行う博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の研究者への助成(24年目)

2012年

7月20日 選考委員会 (於:リーガロイヤルホテル大阪)

応募総数 360件、合格者数 **81件**

(博士後期課程在籍者 59名、博士後期課程終了後5年以内 22名)

	日本人	外国人	合計
応募件数	258	102	360
助成件数	62	19	81

1989年～2012年

累計助成者数 : 1,711件

【国際交流助成】

3,333千円

トルコ国 チャナッカレ3月18日大学日本語教育学科学生の日本研修を助成(16年目)

- ・本年度は学生6名が研修に参加
- ・累計助成者数 … 85名

2012年

8月26日-9月2日 広島国際プラザにて日本語及び日本文化研修

9月3-5日 トルガ・オズシェン助教授のもと6名の学生が財団を訪問し、松下理事長と昼食懇談
松下幸之助歴史館、パナソニックセンター大阪等を訪問

9月5-8日 大阪にてホームステイ

【第21回松下幸之助花の万博記念賞】

13,754千円

1) 受賞候補者の推薦依頼 (2012年6月)

推薦人238名に推薦依頼

2) 候補者の推薦締切り (2012年8月)

記念賞	31件
記念奨励賞	23件
選考対象合計	54件

3) 選考委員会

第1回	2012年 5月15日	於:千里阪急ホテル
第2回	2012年10月 2日	同上
第3回(最終)	2012年10月31日	同上

選考結果は下記の通り。

(敬称略)

記念賞 小山 鐵夫 (公財)高知県牧野記念財団 理事長、高知県立牧野植物園 園長
(300万円) カヤツリグサ科を中心に、地球規模での植物多様性の解明に多大な貢献をし、
また、高知県立牧野植物園園長として、植物の多様性の大切さを広く社会に発信した功績。

記念奨励賞 黒沢 高秀 福島大学共生システム理工学類 准教授
(150万円) トウダイグサ科の多様性研究に貢献される一方で、大学ではユニークな多様性教育を実践し、
その成果を地域自然の理解に活用する独自の手法を考案した。
また、福島県での災害復興にあたり生物多様性の保全に尽力した功績。

記念奨励賞 落合 雪野 鹿児島大学総合研究博物館 准教授
(150万円) 作物や植物と人間との多様な関係の解明を通じて民族植物学の発展に貢献した。
その一方で研究成果還元にも努められそのための新しい手法を創造した功績。

4) 贈呈式・講演会 (2013年2月2日)

リーガロイヤルホテル大阪「山楽」の間において開催し、
約160名が参加。

* 贈呈式

松下理事長から各受賞者に表彰状、クリスタル楯、目録
及び花束を贈呈した。

* 講演会

今回の受賞者3名の方々が講演を行った。

① 小山 鐵夫氏

テーマ: 高知県立牧野植物園
~その発展の道すじ~

② 黒沢 高秀氏

テーマ: 植物相を調べて地域の自然を守る

③ 落合 雪野氏

テーマ: 人とともにある植物
~フィールドワークから展覧会へ~

【「自然と人間との共生」の実現に関わる理念の普及への助成】

585千円

* NPO法人地球環境大学が主催する「地球環境大学講座」への助成

NPO法人地球環境大学は、2012年度に

いきもの

「生物たちが織りなす多様な共生系の世界」—研究者たちのフィールドウォッチングから—
のテーマで、大阪市立自然史博物館にて、7回の講座 及び 7回の自然観察会を実施した。

理事会・評議員会等の開催

(1)第1回理事会

- ・開催日： 2012年5月21日(月) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事総数10名のうち7名、監事総数3名のうち2名が出席 オブザーバー:評議員(7名)
- ・議案： ①第1号議案「2011年度 事業報告案承認」の件
②第2号議案「2011年度 決算案承認」の件
③第3号議案「第1回評議員会招集」の件
- ・報告事項 ①職務執行の状況について
②評議員の辞任について
③理事の辞任について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(2)第2回理事会(みなし決議)

- ・開催日： 2012年6月8日(金) 理事会の開催があったものとみなされた日
- ・出席者： 議決権を有する理事・監事の全員
- ・議事： ①第1号議案「業務執行理事1名選定」の件
②第2号議案「保有株式の議決権行使の承認」について

上記2議案について、議決権を有する理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。
また、監事全員から、書面により異議がないことの意味表示を得た。

(3)第3回理事会

- ・開催日： 2013年3月6日(水) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事総数10名のうち7名、監事総数3名のうち2名が出席
- ・議案： ①第1号議案「2013年度 事業計画及び予算」の件
②第2号議案「各種選考委員選任」の件
③第3号議案「基本財産指定」の件
④第4号議案「基本財産の配分割合」の件
⑤第5号議案「諸規程の改定」の件
⑥第6号議案「事務局長選任」の件
⑦第7号議案「第2回評議員会招集」の件
- ・報告事項 ①2012年度経過報告
②職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(4)第1回評議員会(みなし決議)

- ・開催日： 2012年6月1日(金) 評議員会の開催があったものとみなされた日
- ・出席者： 議決権を有する評議員の全員
- ・議案： ①第1号議案「2011年度 事業報告案承認」の件
②第2号議案「2011年度 決算案承認」の件
③第3号議案「評議員会議長、評議員会副議長選任」の件
④第4号議案「理事選任」の件

上記4議案について、議決権を有する評議員の全員から書面により同意の意思表示を得た。